

# 新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

## 第十一話

### 「北海道指定天然記念物

#### 新冠泥火山について」(要約文)

新冠泥火山における記録で、「この山は明治27年に激しい変動により山体が二つに割れたことがある」という文面が最も古いと思われまます。これは、明治27年3月に発生した根室南西沖地震時での活動と推定されますが、具体的にどのような状況であったのかは詳しく分かっていません。

その後、昭和27年3月における十勝沖地震でも活動が見られました。この地震により、全く無名だった小山が「日高小山」として新聞紙上に書き立てられたことから、泥火山は全国的に知られるようになりました。明治27年から58年ぶりの活動となりました。その後、北海道大学によって現地調査が行われ、大小8ヶ所の泥火山群の存在が確認され、初めて地質学的に研究されました。それらの研究の結果、地質的に極めて珍しいという提言があり、昭和43年に北海道天然記念物に指定されています。

昭和57年の浦河沖地震においても泥火山が再活動をしています。新聞紙上では、「生きていた新冠泥火山群」として全国に報道されました。以降、大きな地震に伴っての活動が何度か見られ、主にサラブレッド銀座入口付近の「第8丘」の頂上部で変化が

あります。

新冠泥火山は、一般的に言われる火山活動とは無関係なもので、油田地帯に見られる地層の背斜に沿って断層が走り、地下の泥質物が地震の震動で圧力が加わり、メタンガスを伴いながら泥や水が噴出して出来たものと考えられています。形成の時期については未だ解明されていませんが、過去の活動では1メートル前後の隆起しか見られないことから、数百年以上は経過しているように思われます。

長い歳月を経て私たちの眼前に現れた泥火山は、小山にすぎませんが、過去の巨大地震の恐ろしさを永遠に伝える産物であり、自然の偉大さを教えてくれます。しかし、泥火山の生成については不明な点が多く、後の調査研究に委ねられています。

平成30年9月胆振東部地震時での新冠泥火山の亀裂(最も新しい活動)



\*追記：平成時代では、平成5年の北海道東方沖地震、平成15年と20年の十勝沖地震、そして平成30年の北海道胆振東部地震において、泥火山の噴泥や亀裂などの活動がありました。

## 大切な「日常」のために私たちができること。 消防団員募集

あなたの想いで、守れる町がある。  
あなたの想いで、救える命がある。  
あなたの想いで、深まる絆がある。消防署新冠支署

火災・救急出動状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	
3月	0件 (0件)	29件 (19件)	
31年1~3月	2件 (0件)	88件 (79件)	
交通事故発生状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
3月	0件 (1件)	0人 (0人)	0人 (2人)
31年1~3月	2件 (2件)	0人 (0人)	2人 (3人)

## 人のうごき

人口 5,495人 (前月比 - 35人)  
男 2,694人 (前月比 - 28人)  
女 2,801人 (前月比 - 7人)  
世帯 2,743世帯 (前月比 - 4世帯)

(平成31年3月末現在)